

マイセシルフ

自分らしく

特集 40年ぶりの

区史編さん

未来に引き継ぐ 品川区の歴史



『品川区史2014』より

私たちが見つけた品川区の

Vol. 5 品川歴史館



常設展示では大森貝塚・品川宿を中心に原始・古代から現代にいたるまでの品川の歴史を学ぶことができます。また雰囲気のある建物の奥には庭園とお茶室、水琴窟があり、都会の中心と忘れるほど心休まる空間となっています。

ちよつといい所
素敵なおところ♪

- 40年ぶりの区史編さん 2～4 P
- 品川区配偶者暴力対策基本計画改訂版について 5 P
- 男女共同参画センターからのお知らせ 6～8 P

2015Apl.

VOL. 48

特集 40年ぶりの

区史編さん

未来に引き継ぐ 品川区の歴史



イラスト・『品川区史2014』より

「品川区史2014」(以下「区史」と表記する)を編さんした品川区役所総務課区史編さん担当係長の寺門さんにお話を伺いました。

区史編さん担当は、区史を4年という期間で編さんし刊行する部署です。編さん作業を始めて3年5ヶ月経った昨年8月に区史を刊行し、今年の3月で4年が経ちます。現在、係は正規職員である私と、非常勤職員の女性が一名、昨年はおもひ一名いましたので、事実上3名か2名でやっています。実際に仕事として携わった人は職員と印刷会社の社員だけでした。あとは区史に協力者の一覧を掲載していますが、多くの方にご協力いただきました。

何故40年ぶりに『品川区史2014』を発行することになったのですか。

区の長期基本計画の区史をつくる計画プランに基づいて編さんしました。前回の区史発行から今まで何回か改定し資料編も出しましたが、昭和48年のオイルショックの影響でその後、発行できませんでした。しかし、現在までまちや色々なものがずいぶん変わったので、40年ぶりに改めて記録し作り直すということに

なりました。

編さんする上で一番配慮したことはなんですか。

基本中の基本ですが、事実関係を間違つてはならないということですね。それから、ちゃんと約束通りの時間に刊行するということです。もちろん内容をしつかりしたものにしようということもですね。

区史を手にする人に一番伝えたいことはなんですか。

区史を読んで品川のことや歴史、地域活動など今の品川の様子を伝えたいです。図書館などに置かれていると、2、30年経つてから読む人もいます。また区内の図書館だけでなく、全国に読者がいて、40年前の品川区のこと、改めてこういった意味を持つのか等と読まれると思うんです。本は残るので将来にわたって伝えたいと思います。特に自治体史といつもの参照されますし、私も今回の区史を作る上で、昭和5年に発行された本を参考にしました。同じように今回の区史が今後参考にされるとき、理解できるよう意識して書きました。

品川区の人口

年	世帯数	総数	男	女
昭和5年	68,107	311,604	161,848	149,756
昭和10年	76,473	366,125	188,818	177,307
昭和20年		143,490	75,954	67,536
昭和30年	96,419	374,184	191,614	182,570
昭和40年	151,359	410,637	212,248	198,389
昭和50年	148,598	359,414	179,421	179,993
昭和60年	152,757	348,450	173,338	175,112
平成2年	152,563	337,784	167,532	170,252
平成10年	154,453	315,965	155,956	160,009
平成20年	185,306	342,472	168,490	173,982
平成27年	205,290	372,077	182,430	189,647

各年1月1日現在 品川区の統計より

編さん作業で、例えば資料集めなど難しかった点はありましたか。

期間も短かったので、知り合いの研究者に依頼しました。印刷会社の編集者の紹介でお願いした先生もいます。品川区については、OBの方にもお願いした部分もあります。残りの部分は私が執筆し、区史全体の編集を担当しましたが、大体のページが見開きで400字詰め原稿用紙5枚、それが2ページあって10枚に収めなければなりませんでした。私が書いた

たとき、資料が非常に面白く、伝えたいこともたくさんあったので、最初は7、80枚くらい書きました。10回以上削って、やっとこの分量になりましたね。自分で書くのは楽ですよ。

編集ではレイアウトが決まっています。それに沿って行いました。レイアウト後、何行削るということもあり、最後の最後の調整で、あと1行削ってくださいと編集者に言われて削ったら、やはり1行入りますということがありました。人の原稿を編集する立場から見ますと、研究者は文章を長めに書きます。5枚以上を頂戴して、担当職員と印刷会社の編集者が調整します。それぞれ皆さん文体が違う



取材風景

ので、それをある程度似たような表現、文章をどういう風な口調にするか、その方の雰囲気を残しながら読みやすかつ統一性があるように配慮しました。

編さんする中で改めて感じた品川の魅力はありましたか。

本音をいうと魅力を感じる余裕はありませんでした。通常業務が忙しいこともあり、あつという間に編さん作業が終わりました。また、品川区の町会長などに資料がありましたら教えてくださいと声をかけたり、取材に出かけ、そこで以前勤務した品川歴史館では聞けなかった話や、全然知らなかった話、職員としてまた人間として大切な話を聞きました。

編さんにはどれくらいの時間が掛かりましたか。

期間は4年間で最初の1年間は資料の準備をしていました。その後印刷会社と契約したり、編集のある程度の部分やデジタルのデータをお願いするなどの仕事が2年目から始まり、結局4年目の半分で区史が完成しました。編さんの期間からいうと2年目の秋、契約が始まって半年くらいで原稿を頂きました。私はこの仕事だけではないので、自分の原稿も書

きつつ、写真も撮るということで時間的には非常にタイトでしたね。

前回と今回の編さんによって大きな変更点はありましたか。

前回の区史は非常に専門的にかつしっかり品川の基礎が書かれています。それゆえに一般の方が読んでもあまりわからないという事実がありました。今回のプランは分かりやすく、ビジュアル重視で簡潔に写真を置くことと決まっていました。前の区史の内容がオイルショック前、つまり高度経済成長で終わっているんですね。そのあとから書くという方針になっていましたが品川区の誕生から書いたほうがいいということで、品川区の誕生から現在、未来展望まで書いています。地域や歴史がまたがり通史編には盛り込めない大切なこと、地域の歴史の中に新たに分かったことは特論やトピックページで入れました。プロの編集者の腕で私が見ても非常に読みやすいものに仕上がっていると思います。

区史の中の未来展望とは具体的にどのようなことが書かれているのですか。

区史の始まりは前回の続きから書くこ



寺門係長と編集委員

とは決まっていたのですが、どこまで書くかはこちらで決めなければなりません。当初通史では4年前にちょうど3・11があった翌月から仕事始めたので、最後は3・11とその対応策で終わろうと考えていました。しかし、地域のことを書いた時点でこれからどういう風に進んでくのかを書くことになりました。また、歴史的事実も残そうと思っていました。

この区史の見所はどこですか。

編集者としては、皆さんが住む前の品川区はどのような様子だったのか、どのようにできていったのかをぜひ見ていた

区の合併の遍歴図

東京都6郡と東京府15区（明治22年）



大東京市35区の分割20区（昭和7年）



東京都25区（昭和22年）



『品川区史2014』より

だきたいです。個人として、日によって変わってしまうほど見どころありますが今、特に思い入れが深いのは建物疎開に關係する日記や配給切符の部分です。日記は以前品川歴史館で学童疎開についての展示があった時に寄贈していただいた史料で、非常に面白く、また、ある町会で大切にしていた配給切符も未使用のもので、それぞれめったに見かけない貴重なものです。非常に珍しいものでしたので、両方とも喜んで区史に掲載させて頂きました。こういうものは研究者冥利に尽きますね。

出来上がった瞬間はどうでしたか。

疲れましたね。おそろくトライアスロン

ンを10回やりこめた時の気分のようにだと思えます。達成感というよりは、「終わった」というほうが強かったです。出来上がったからは少し満腹状態だったので一か月程経ってから読みました。

反響はありましたか。

ありました。自治体史は普段あまり手に取って頂けないのですが、書店や区長などが様々な所でPRして下さっているおかげで多くの方々から反響を頂いております。この区史はDVD2枚が付き、税込みで4500円という値段なのですが、様々な値段への価値観がある中でこの区史を選んで手に取って頂いたことに感謝しています。

編集後記

カラー写真が多く、読み手にとってわかりやすいよう配慮された『品川区史』の編さん・編集作業のお話は、編集委員としても大変勉強になりました。文字として未来に残るものを作る活動に携わる者として、責任を持って取り組む姿勢を学ばせていただきました。

（椎名悠）

今回の取材では、品川区の区史編さんに関する興味深いお話を沢山聞くことができ、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。私たちの学校もある品川区について、さらに学んでいきたいと

思います。

（石井佐帆）

区史を編さんする期間が思っていた以上に短く、通常業務と同時並行だったことに驚きました。今回ここに載せきれなかった貴重なお話を今後マイセルフでの編集作業、自身の生活面に活かしていきたいです。ぜひ皆様にも『品川区史』を手にとってご覧頂けたらと思います。

（尾島環）

『品川区史』には時代と共に変化していく品川の様子が書かれているのですが、その中でも特に興味深かったのは品川区の未来展望についても言及している点です。「今」読むだけに留まらず、「将来」にわたって読まれるということを見据えて編さんを行なっているというお話が非常に印象的でした。

（川畑茉莉）

取材を通して、歴史や編集作業について深く考えることができました。高校以来あまり触れていなかった日本史を、また勉強し直したいと思うきっかけになりました。また、今回初めて本格的に編集作業をさせていただき、編集の難しさが少し分かりました。

（宮内美紀）

品川区配偶者暴力対策基本計画改訂版を策定しました。

配偶者暴力は、個人の尊厳を著しく傷つけ、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。「配偶者」という親密な間柄において、家庭という人目に触れにくい場所で起こることから、潜在化しやすく被害が深刻化しやすいといった特徴があり、また、近年では「デートDV」「ストーカー行為」も重大な社会問題になっています。

配偶者暴力等を未然に防ぐため、暴力防止に向けた意識啓発を行い、早期発見に繋がります。また、被害者の支援にあたっては、相談から自立まで、被害者一人ひとりの状況に応じた総合的な支援体制づくりの等に取り組めます。

目的

区では、平成21年に策定した「男女共同参画のための品川区行動計画（第4次）」の中で、「配偶者からの暴力の防止と被害者支援をめざす取組み」を重点施策のひとつとし、平成23年3月には「品川区配偶者暴力対策基本計画」を策定し、体系的かつ計画的に推進してきました。このたび平成26年度で本計画期間が終了し、改訂版を策定しました。



計画期間

平成27年度から30年度までの4年間

施策体系

基本目標 1 暴力の未然防止と早期発見

さまざまな機会や手段を通じ意識啓発を行い、未然防止および早期発見に繋がります。

施策目標

- (1) 暴力防止に向けた啓発活動の推進
- (2) 若年層に向けた意識啓発の推進
- (3) 早期発見への取組み

基本目標 2 被害者の立場に立った相談の充実と支援体制の整備

被害者が一人で悩むことなく安心して相談でき、相談から自立まで切れ目ない支援体制づくりに取り組めます。

施策目標

- (1) 相談機能の充実
- (2) 安全確保に向けた体制の整備
- (3) 情報の適切な管理
- (4) 自立に向けた支援体制の整備
- (5) 子どもへの支援体制の整備

基本目標 3 人材の育成

職務関係者に加え、住民票や健康保険、年金を担当する職員など窓口で対応する職員に対しても研修を行い、資質の向上および二次被害の防止に努めます。

施策目標

- (1) 人材育成の推進

基本目標 4 区の体制整備および関係機関等との連携

配偶者暴力防止に関わる関係各課、警察、医療機関、民間支援団体等との連携強化を図ります。

施策目標

- (1) 区の体制の整備と施策の推進
- (2) 関係機関との連携の推進

今 人生 楽しんでますか？

～自分らしい 仕事と育児の バランスを見つけよう～

開催日 平成26年11月15日(土) 場所 品川区立総合区民会館きゅりあん小ホール

参加者 186名

講演講師 安藤 哲也氏 (NPO法人ファザーリング・ジャパン 代表理事)



平成26年4月から「イクメン」をテーマに男女共同参画推進フォーラム2014の企画運営委員会を積み重ね安藤氏を講師にお招きし開催しました。9回の転職を経て、2006年に父親支援事業を展開する「ファザーリング・ジャパン」を設立し、笑っている父親を増やしたいと全国各地で講演会やセミナー講師をされている安藤氏に仕事と育児の両立の秘訣は？家族の笑顔をもっと見るためには？子どもたちの明るい未来のためは？そして自分らしくもっと人生を楽しむために、いろいろなポイントを教えていただきました。

最後は質疑応答が行われるなど、充実した講演会となりました。また、今年度もホールのホワイエでは、委員による「おすすめの読み聞かせ絵本」やお子様とお出かけしてほしい「おすすめスポット」などの展示もあり入場された方たちに大好評でした。

参加者の感想

- やはり人の気持ち、いや人を変えるのは怒りによるものより優しさによるものの方が大きいのかな?と考えました。(30歳代・男性)
- 年齢に関係なく、人は自立しなくてはいけないと感じた。(60歳代・女性)
- ハッピー・ワーク・ライフ・バランスという言葉が面白かった。(70歳代・男性)
- ワーク・ライフ・バランスをどのように考えるのか、私にとって新しい考え方でした。仕事だからしょうがないと思っていました。(30歳代・女性)
- 日々仕事しかしていないので反省。凝り固まった頭をもみほぐしていただきました。(40歳代・男性)
- 人生を楽しむには、家庭が大事というのがそうだ!と思いました。(50歳代・女性)
- 父親の視点で話していただいて勇気がわきました (30歳代・男性)
- 今までの中で、一番素敵なNPOにお会いした!と思いました (40歳代・女性)
- 地域コミュニティの重要さに気づきました。イクボスの活動も気になります。(40歳代・男性)



講座報告

■ 身近な法律講座

①「相続と遺言の基礎知識～いざという時に家族がもめないために～」(11月20日 参加者19名)

講師 亀井 時子氏 (弁護士)

「いざという時に家族がもめないための相続と遺言の基礎知識」を、平成27年1月1日施行の相続税および贈与税の税制改正の主な内容を交えながらわかりやすく説明し、参加者からは「参考になりました」「遺言書の大切さがわかりました」などの感想が寄せられました。



②「離婚～知っておきたい婚姻費用と養育費～」(11月26日 参加者8名)

講師 寺崎 京氏 (弁護士)

「婚姻費用」と「養育費」に絞っての講義でした。特に「養育費」については、養育費分担義務や算定方法、養育費の始期と終期などの基礎知識のほか、よくある事例を交えながらわかりやすく説明し、参加者からは「養育費の支払いについて、大変参考になりました」「慰謝料と財産分与についての話も聞いてみたい」などの感想が寄せられました。



■ ライフ&マネープラン講座 (12月4日・11日(全2回) 参加者延べ27名)

講師 飯村 久美氏 (ファイナンシャルプランナー)

幸せな人生とはなにかということで、心と、お金と、健康とがオリンピックの輪のように3重に重なりあった図が示されました。お金がたまるステップとして、まず夢を描いて目標を立て、今の家計を知り、そして行動します。週に1回は家計簿もしくはレシートを見て使い道を振り返ることで、我が家の家計を「見える化」します。今の家計を知ることが大切なのです。出て行ったお金を見直して見ると、「生き金」と「死に金」があります。良い買い物をして満足度が高いことも価値があります。「死に金」にメスを入れるのです。講座中はグループに分かれて座り、アイデアを出し合ったり話し合いをしたり、和気あいあいと交流しました。双六を使った消費者教育のゲームも行いました。「参加してよかった」と、多くの方々から感想をいただきました。



■ デートDV講座『デートDVを知っていますか』（12月14日 参加者27名）

講師 佐藤 香氏（NPO法人全国女性シェルターネット）

結婚していない恋たちの間で起こる暴力、特に若い世代で親密な関係にある相手からの暴力を「デートDV」といいます。暴力は、身体的な暴力だけでなく、精神的、経済的、性的暴力等も含まれます。また、DV被害者は婚姻前から暴力を振るわれている場合が多く、デートDVの延長線上にDVがあるとされています。自分を大切にしたい気持ち、それと同じように相手を大切にしたい気持ちを持ち、自分も相手も大切にしたい関係を築くことを学びました。



■ DV理解基礎講座 ～DVを知ってDVをなくす～（1月14・21日（全2回） 参加者延べ28名）

講師 松田 知恵氏（心理カウンセラー）

DVとは、相手を抑さえ込み、生きる力を奪う暴力、身体的・精神的・性的・経済的暴力であり、安全と健康を破壊されてしまいます。密室のなかでおこるため、発見されにくいのです。そして被害者でありながら、自分がしっかりしないから、と自分を責めてしまい自信喪失してしまいます。自己決定する力も奪われてしまいます。しかしここ数年で大きな変化がありました。社会的問題として認知され、警察も対応しているのです。被害をなくすために、構造的な問題として理解することが重要です。なにを得れば力の落差が減るか、また社会的資源等（警察、法的・福祉的・就労・子育ての支援など）の利用を検討していくことも大切な支援となります。

相談から支援を受けて生活再建中の事例の紹介が現実的で、よりわかりやすかったと感想をいただきました。



講座のお知らせ

- 会場** 品川区立総合区民会館きゅりあん（品川区東大井5-18-1）
問合せ先 男女共同参画センター 電話 5479-4104 FAX 5479-4111
定員 25名 託児あり（定員に達している場合もありますのでご了承ください。）

※以下の内容は原稿作成時のものです。最新の情報は広報しながわおよび品川区HPでご確認ください。

開催日	内容	講師	募集掲載予定 広報しながわ
5月19・26日 6月2・9日	ママのおしゃべりCafé（全4回）	講師 別府 明子氏	4月11日号
6月6日（予定）	おやこ応急手当講座 （会場：品川第一地域センターを予定）	講師 品川消防署員	5月11日号

夫など、パートナーからの暴力に悩んでいませんか？

暴力は犯罪です。ひとりで悩まず、ご相談ください。

東京都の配偶者暴力相談支援センターなどもご紹介いたします。詳しいことは品川区男女共同参画センターへ TEL. 5479-4104

- ★男女共同参画センターDV相談 毎月第1・3・4・5日 午後1時～4時（受付時間は午後3時まで）
 毎月第2日 午後5時30分～8時30分（受付時間は午後7時30分まで）

※面接または電話による相談。予約優先。

★しながわ見守りホットライン（児童虐待・DV）..... TEL. 3772-6622 24時間つながります。

★国（内閣府男女共同参画局）の相談窓口「DV相談ナビ」..... TEL. 0570-0-55210（お近くの相談窓口を自動音声によりご案内）もあります。

❶ 緊急のときは（身の危険を感じたら）..... ☎警察 110番（事件発生時）

男女共同参画推進登録団体紹介15 「アドボカシー」代表 堀口 義知

名称のアドボカシーとは「権利擁護の代弁者」という意味です。本会は成年後見、福祉・医療制度の活用の相談や支援を行っています。

メンバーは、社会福祉士、精神保健福祉士、ケアマネージャーほか、福祉に関心がある人です。成年後見制度についてご紹介します。高齢になり認知症になられた方、あるいは知的障害や精神障害等によって、判断能力が十分でない方でもご本人が自分らしく生活することができるように、後見人等がサポートし、本人の権利を守るための制度です。



一人暮らしの方、施設入所中の方、入院中の方、また障害のあるなしに関わらず、日常生活に不安を感じたら、ご相談ください。

たとえば、

1. 身寄りがないので、寝たきりになったり、認知症になってしまったあとが心配なとき、今後のことについて相談したい。
2. 障害を抱える子どもを持っているが自分たち親が亡くなった後について相談したい。
3. 有料老人ホームなど、どの施設を選んでよいかわからない。
4. 振込詐欺にあわないために

などなどです。

本会はすでに活動し業務を継続中です。その活動の中で、制度上などを含みさまざまな問題を感じています。特に利用者と信頼できる関係をつくり、ただちにサポートできる仕組みづくりが必要であると実感しています。

そして、このような仕組みが社会に定着し、次の担い手に引き継ぐことができるように整備することを目指しています。



男女共同参画センターからのお知らせ

女性相談員による相談室

心や、生き方の悩み、
家庭のことで困っていること、
また、法律に関することや離婚、金銭トラブルなど、
お気軽にご相談ください。
(男性もご利用ください)

電話相談

カウンセラーによる電話相談

毎月第1・2・3木曜日 午前10時～午後4時

(ただし、木曜日が祝日の場合はお休みとなります)

正午～午後1時前後は休憩時間のため、対応できないことがあります。

終了時間が午後4時ですので、お電話は午後3時30分ごろまでお願いいたします。

専用電話 5479-4105

面接 相談

無料。事前予約が必要です。予約電話 5479-4104

	相談時間	4月	5月	6月	7月
弁護士	午後1時～3時30分	1日 (水)	13日 (水)	3日 (水)	1日 (水)
	午後1時～3時30分	7日 (火)	19日 (火)	9日 (火)	7日 (火)
	午後5時30分～8時	20日 (月)	25日 (月)	15日 (月)	13日 (月)
カウンセラー	午後1時～4時	23日 (木)	28日 (木)	25日 (木)	23日 (木)
DV相談	午後1時～4時	3・17・24日 (金)	1・15・22・29日 (金)	5・19・26日 (金)	3・17・24・31日 (金)
	午後5時30分～8時30分	10日 (金)	8日 (金)	12日 (金)	10日 (金)

※法律に関することは法律相談(弁護士)を、
こころと生き方の悩みごとはカウンセリング相談(カウンセラー)を、
DVに関することはDV相談(専門相談員)をご利用ください。

☆交流室や会議室を、男女共同参画の推進を目的とする活動や学習のために、ご利用ください。交流室には資料コーナーが併設されています。

◇交流室 18席(最大): 個人やグループの活動の場としてご利用ください。

◇会議室 36席(最大): 利用する場合は、あらかじめ団体登録が必要です。詳しくは男女共同参画センターにお問い合わせください。

特集記事にご意見・ご感想をお寄せください。お待ちしております。

○次号「マイセルフ 自分らしく」49号は平成27年8月発行予定です